

平成28年度予算案について

(H28.02.05記者発表)

平成28年度の各会計予算案がまとまりましたので、その概要についてご説明申し上げます。

新年度予算の編成にあたっては、その基本的な考えとして、「財政標準化計画」をもとに、収支バランスを維持し、公債費の抑制などに努めるとともに、



増加する社会保障関係費を確実に措置したうえで、景気・雇用情勢を踏まえ、一定の事業量を確保し、雇用や地域経済の活性化策を行うとともに、定住促進、子育て支援など、各種施策を着実に進め、千歳のさらなる発展を目指し「未来へ続く“発進”予算」として、取りまとめたところであります。

予算の概要であります、「休日夜間急病センター整備事業」では、平成29年秋の開設に向け、建築工事に着手するとともに、医師等の医療スタッフ確保に向けた取組を進めます。

大型事業である「公営住宅建替事業」みどり団地3号棟は、28年10月入居開始に向けた整備を進め、「第2庁舎建設事業」では、本年の基本設計に続き、実施設計に着手し、「消防総合庁舎改修事業」においては、庁舎の耐震性を確保するため耐震改修工事を実施します。

新規事業では、千歳川沿いの河川緑地に重点的に桜並木を整備し、

賑わいや憩いの空間を創る「千歳川桜プロジェクト事業」を開始するとともに、「友好親善都市・長春市マラソン交流事業」、「緑小学校区学童クラブ新築整備事業」、「住民票等コンビニ交付事業」、「支笏湖ヒメマスふ化場附帯施設整備事業」、「青葉公園庭球場改修事業」などに新たに着手します。

子育て・教育では、「北陽小学校区学童クラブ」を、29年4月開設に向け整備を進めるほか、新たに、「産前・産後ケア事業」を開始し、妊娠・出産から育児へつなげる切れ目ない支援体制の構築を図り、学校教育においても、「学力向上推進事業」、「英語活動推進事業」を開始し、学力の向上を図るとともに、全小中学校の普通教室に配置する電子黒板などのICT機器を、少人数指導教室や、理科室など特別教室に拡大し整備を行い、「新給食センター整備事業」につきましても、基本調査を実施します。

移住定住促進では、本年3月までに「千歳市移住・定住促進プロジェクト」を強化、発展させた「（仮称）千歳市人口ビジョン及び総合戦略」を作成し、人口の増加を維持するために行う、取組の目標・方向性を示します。

これらに関連し、国の地方創生加速化交付金に、就職促進、創業支援など4事業の申請を行い、平成28年第1回定例会に補正予算の計上を行う予定としているほか、新年度予算においては、独身男女の出会いの場の提供や、セミナーを開催する「結婚活動応援事業」の継続、不妊治療費の助成では、「特定不妊治療」に加え、新たに人工授精などを行う「一般不妊治療」についても助成対象に加え、制度を拡充することで、婚姻率・出生率の増加を図ります。

このほか、老朽化が進む道路、街路灯、橋梁などの改修を行う「道路ストック整備事業」、「橋梁長寿命化対策事業」に継続して

取り組むほか、バス路線再編に併せ、利用者の利便性向上を図るため、「バスロケーションシステム」の導入や、「新千歳空港24時間運用枠拡大に伴う周辺環境対策事業」など、各分野にわたって施策を展開するほか、10月には、大正15年10月の北海第一号機着陸から90年を迎えることから「空港開港90周年」記念事業の開催を予定しております。

これらの実施に伴い、公約として掲げた60項目のうち、全ての項目が着手済みとなります。

新年度の予算額であります。一般会計では、377億3千9百万円となり、前年度の補正後の予算比で1億6千2百万円の増となっております。

また、特別会計では6会計の総額で、156億2千6百万円となり、一般会計を含めた総額では、533億6千5百万円、これに公営企業会計を加えた総体額で、686億5千2百万円の規模で編成したところであります。

なお、平成28年度の重点施策につきましては、「重点施策の体系」にありますように、「活力」と「安心」の2つを柱に、「経済・雇用」、「市民協働・地域活動」、「医療・福祉」、「子育て・教育」、「環境・防災」の5項目に対し、64の細事業を位置付け、千歳市の持続ある発展のため、重点的に取り組んでまいります。

この予算案につきましては、3月1日に開会予定の第1回市議会定例会に提案してまいりたいと考えております。